

Kyowa Hakko Bio

SUSTAINABILITY DATA 2025

2025年11月発行

協和発酵バイオグループ サステナビリティデータ

プロフィール

		2020	2021	2022	2023	2024
売上収益（億円）	協和発酵バイオ	573	530	511	514	502
	連結	2,002	2,019	2,042	2,073	1,955
従業員数（人） ^{※1}	日本	1,201	1,187	1,125	1,086	962
	海外	801	832	917	987	993

※1 数値は各期末時点でのものです。社内への出向者は対象、社外への出向者は対象外としています。この算出条件のため、キリンホールディングスなどの報告における従業員数と異なる場合があります。

環境

バウンダリーは以下の会社を対象範囲としています。

日本：協和発酵バイオ、協和ファーマケミカル

海外：BioKyowa、Shanghai Kyowa Amino Acid、Thai Kyowa Biotechnologies

	指標	2020	2021	2022	2023	2024
水資源	用水使用量（千m ³ ）	28,520	23,743	23,963	19,264	16,726
	日本	18,832	13,972	13,746	11,635	11,215
	海外	9,688	9,771	10,217	7,629	5,510
工場・事業所内における水循環の総利用量（千m ³ ）	81,329	76,287	57,561	73,525	63,194	
排水	排水量（千m ³ ）	31,670	28,035	25,993	22,179	20,221
	COD (t)	534	540	799	717	481
	日本	74	96	94	85	62
	海外	460	444	705	632	419
	窒素 (t)	605	546	788	577	284
	日本	89	102	97	79	87
	海外	516	444	691	498	197
	リン (t)	21	27	17	11	9
	日本	7	8	6	5	4
	海外	14	19	11	6	5

	指標	2020	2021	2022	2023	2024
気候変動	GHG排出量 (千tCO ₂ e)	408	392	363	305	215
	スコープ1+2	219	201	170	129	78
	スコープ1(直接的排出)	44	41	40	33	26
	スコープ2(エネルギーの利用に伴う間接的排出)	175	161	131	96	89
	スコープ3(その他の間接的排出)	189	190	193	176	137
環境監査実施会社数	売上収益あたりGHG排出原単位 (tCO ₂ e / 百万円)	7.1	7.4	7.1	5.9	4.3
	エネルギー使用量 (TJ)	2,552	2,480	2,355	2,136	1,839
	ISO14001を取得している生産拠点 (2025年6月時点)	0	2	2	4	4
廃棄物	廃棄物発生量 (千t)	43	39	39	29	23
	場内処理量 (千t)	2	2	0	0	0
	廃棄物資源化量 (千t)	40	36	38	29	22
	最終処分量 (千t)	0.6	0.6	1.1	1.0	0.6
	再資源化率 (%)	98.7	98.5	97.1	96.7	97.2
大気汚染物質	NOx排出量 (t)	15	17	22	18	12
	SOx排出量 (t)	1.4	2.8	0.6	1.0	0.5
VOC ^{※2}	メタノール (t)	144	232	255	266	44.1
	アセトン (t)	6	4	5	7	0.3
	PRTR法対象物質 (t)	35	47	40	40	6.5
	酢酸エチル他 (t)	57	110	85	100	21.7
	合計 (t)	242	393	385	413	72.6
環境マネジメント	環境監査実施会社数	0	2	2	4	4
	ISO14001を取得している生産拠点 (2025年6月時点)					

※2 日本の生産拠点（協和発酵バイオ、協和ファーマケミカル）を対象範囲とします。

社会

バウンダリーは以下の会社を対象範囲とします。

日本：協和発酵バイオ、協和ファーマケミカル

海外：BioKyowa、Shanghai Kyowa Amino Acid、Thai Kyowa Biotechnologies、

Kyowa Hakko U.S.A.、Kyowa Hakko Europe、Kyowa Hakko Bio Italia、Kyowa Hakko Bio Singapore、Kyowa Hakko (Guangdong) Pharmaceutical

品質保証	ISO9001もしくはFSSC22000を取得している生産拠点	協和発酵バイオ、BioKyowa、Thai Kyowa Biotechnologies
	各国当局による医薬品GMP適合認定を受けている生産拠点	協和発酵バイオ、協和ファーマケミカル、Shanghai Kyowa Amino Acid

(2025年6月現在)

		指標	2020	2021	2022	2023	2024
持続可能な調達	サプライチェーン方針の研修を実施した調達部門のスタッフの割合(%) ^{※1}	—	100	100	100	100	100
	サプライヤーにおける児童労働の報告件数	0	0	0	0	0	0
	サプライヤーにおける強制労働の報告件数	0	0	0	0	0	0
コンプライアンス	コンプライアンス研修の受講者の割合(%)	—	—	93.0	96.8	97.7	
	コンプライアンスリスクのリスク評価実施拠点の割合(%)	—	—	100	100	100	
エンゲージメント	従業員エンゲージメントスコア(%) ^{※2}	68	70	72	72	74	
	育成	業績とキャリア開発についての定期的評価を受けている従業員の比率(%) ^{※3}	100	100	100	100	97.7
従業員	従業員の平均勤続年数(年/人) ^{※4}	14.5	14.3	13.5	13.2	13.2	
	日本	19.7	19.7	19.1	19.4	19.1	
	海外	6.9	6.9	6.4	6.6	7.4	
	男性	14.9	14.7	13.9	13.9	14.0	
	女性	12.8	13.0	11.9	11.2	10.8	
	離職率(%) ^{※5}	8.2	10.5	10.9	10.9	10.7	
	日本	7.5	8.3	8.7	10.0	10.5	
	海外	9.2	13.6	13.6	11.9	10.8	
	協和発酵バイオの女性役員の比率(%)	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	
	女性マネジャーの比率(%) ^{※3}	18.4	18.5	17.9	19.7	22.4	
ダイバーシティ	日本	10.5	10.9	12.1	12.2	11.9	
	海外	30.6	30.1	31.0	34.4	39.5	
	女性従業員の比率(%) ^{※3}	23.9	23.8	24.0	24.7	24.9	
	日本	23.0	22.7	22.3	21.7	21.1	
	海外	25.2	25.3	26.1	27.9	28.9	
	新規採用者に占める女性比率(%) ^{※3}	23.0	23.6	27.1	31.2	33.3	
	日本	34.5	39.2	36.2	13.8	27.5	
	海外	18.4	18.6	25.3	33.9	36.4	
	年齢別比率(%) ^{※3}						
	30歳未満(%)	19.3	19.8	19.9	18.9	16.6	

		指標	2020	2021	2022	2023	2024
		出産・育児休業後の復職率(%) ^{※6}	100	100	100	98.2	100
健康・安全	男性		100	100	100	100	100
	女性		100	100	100	95.7	100
	労働安全方針が適用された従業員の割合(%)	100	100	100	100	100	
	従業員一人当たりの年間総実労働時間(時間／人)	2,040	2,070	1,936	1,940	1,931	
	日本	2,070	2,092	2,047	1,956	1,965	
	海外 ^{※4}	1,968	2,019	1,804	1,922	1,898	
	労働災害強度率	0.017	0.015	0.031	0.096	0.042	
	休業災害度数率(LTIR)(件／百万時間) ^{※7}	1.01	1.82	1.50	1.57	1.89	
	日本	0.92	2.02	0.56	1.40	1.26	
	海外	1.12	1.55	2.57	1.78	2.67	
従業員	労働災害による死者数(人) ^{※7}	0	0	0	0	0	
	医療保障でカバーされている従業員割合(%) ^{※3}	100	100	100	100	99.5	
	定期健康診断受診率(%)	97.6	98.1	97.2	98.2	95.3	
	日本	100	100	100	100	100	
	海外	93.8	95.2	93.6	96.1	90.6	
	ストレスチェック受検率 ^{※1}	89.8	90.6	92.6	92.1	85.8	
	ストレスチェックの集計結果(総合健康リスク) ^{※1}	88	86	86	90	90	
	団体交渉権(労働協約)をもつ従業員の割合(%) ^{※3}	70.5	71.3	72.0	72.6	72.5	
	日本	74.4	73.7	72.4	71.7	71.9	
	海外	64.6	67.9	71.4	73.5	73.1	
労働慣行	人権保護方針が適用された従業員の割合(%)	100	100	100	100	99.2	
	人権に関する研修を受けた従業員の割合(%) ^{※3}	70.8	94.5	91.3	94.3	95.2	
	人権に関する学習機会を提供した拠点の割合(%) ^{※3}	100	100	100	100	100	
	労働慣行あるいは人権影響に関する苦情で、正式な苦情処理制度により申立、対応、解決を図ったものの件数(件) ^{※3}	6	4	3	3	1	

本ページ(および他ページに記載の同指標名の数字)において特に明記がない場合は、従業員として正社員(full-time employee)を算出対象としています。

*1 協和発酵バイオのみを対象範囲とします。 *2 従業員エンゲージメント調査(正社員、契約社員、パート、派遣社員が対象)のスコアを、回答者数に基づいて加重平均し算出。 *3 Kyowa Hakko Bio Singaporeは2020年より反映。 *4 Shanghai Kyowa Amino Acidは2020年より、Kyowa Hakko Bio Singaporeは2021年より反映。 *5 当期に離職した正社員数/当期末の正社員数(離職には自己都合、会社都合、定年、在職中の死亡を含む)。 *6 Kyowa Hakko Bio Singaporeは2020年より、Shanghai Kyowa Amino Acidは2021年より反映。 *7 生産拠点を算出対象範囲とします。

開示データの定義

特に明記がない場合、データは適切と思われる桁数で四捨五入して開示しています。
各項目を四捨五入して合計しているため、内訳の合計値と一致しない場合があります。

環境データ算定方法

使用係数

エネルギー使用量の換算係数

燃料	「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」係数
電力	IEA (International Energy Agency : 国際エネルギー機関) などが用いている 3.6 (MJ/kWh) を使用。
蒸気	消費側の理論発熱量 (1MJ/MJ) を使用。

GHG排出量の排出係数

燃料、蒸気	・「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」(環境省・経済産業省) 係数 ・USA - GHG Emission Factors Hub (Bio Kyowa Inc.)
電力	各電力事業者が広報する調整後排出係数、ない場合は、当該年の IEA 「Emission Factors」より国別の排出係数
Scope3	2019 年以降の算定で可能な範囲で IDEA (Inventory Database for Environmental Analysis : 国立研究開発法人産業技術総合研究所が提供する LCA データベース) を使用 (2019 年実績、2020 年実績:IDEA Ver.2.3、2021 年実績:IDEA Ver.3.1、2022 年実績:IDEA Ver.3.2、2023 年実績:IDEA Ver.3.3 を使用)。その他、環境省排出原単位データベースや各業種の LCA 報告書などの文献値を使用。

算定方法

協和発酵バイオグループのGHG排出量はGHGプロトコルを参考に策定したキリングループの方針に準拠して算定しています。詳細は『[キリングループ ESG Databook 2025](#)』“環境データ算定方法”をご参照ください。この際、協和発酵バイオのアルコール事業（2020年にメルシャンへ移管済）を除く範囲となるよう、過年度分を遡及修正しています。